

# 桜花片々

## 編雲飛

### 座談会

出席者

教頭 戸嶋 正夫

新8回生 田中 義男

新8回生 田口 節雄

新8回生 小泉 務

新8回生 平野 喜三

新9回生 沢田 重安

司会 編集 部

司会 昭和三十年、野球部の甲子園

出場は、母校五十年間の歴史の中では最大の華であったと思います。

二昔前のことで時間的には遠くなり

ましたが、紙吹雪やパレードなど昨日のこのような気がします。今夕はあの時の感激をここに再現してほしい

……。まず主将であった田中君からナインの紹介を……。

田中 投手村川、補手田中、一塁名久井、二塁平野、三塁板垣、遊撃小泉、

左翼佐々木、中堅田口、右翼沢野（現在沢田）、部長は戸嶋先生、監督が川村先生でした。

司会 今は県大会優勝すれば甲子園ゆきとなるが……。

戸嶋 あの頃は秋田、青森、岩手の三県の中から代表一校が出た。奥羽大会と称したが、これに出るまでがまた大変、甲子園出場校は全国で二十三校、東北からは二校だけでした。

小泉 奥羽大会には何度か先輩達も出ましたね。

司会 小武方、円子時代ですか。

戸嶋 三度かな、小武方、遠藤らの時も青森までいったが果たせなかった。

司会 八戸高との決勝戦では自信がありましたか。

軟投村川投打に活躍す

田中 誰と比べてとび抜けた選手がいるでもなし、みんなどんぐり、挙げれば村川ぐらゐのものじゃなかったですか。だから優勝なんて……。

司会 村川は抜群でしたか。

田中 バッテングだったら抜群でしょうね。

戸嶋 いい時に打ったからな、投打に活躍した。

田中 決勝の時に活躍したのは小泉です。小泉が打って村川が選ってききましたから。あの時僕は全然……。

司会 村川は軟投でしたナ……。

戸嶋 ノラリクラーリの投手と新聞にも出たもんだ。

小泉 球が沈んでいたから、打たれてもほとんどゴロになった。それに信じられぬほど併殺が多かったですね。

スコアブックをみればセカンドの平野

なんか少なくて四回、多いときは六回もやっている。

司会 県予選では尻上りに好調だったようですね。

田中 一回戦の時、どうも自信がなかった、なにせ盛商との練習試合で大敗してたもんですから……。

沢田 寄宿舎で合宿し、市立高校で練習試合をやりましたね。石川さんなんかがコーチしてくれましたがコールド負けでしたね。

平野 だから下馬評も常に岩高不利と出ました。

戸嶋 地元紙の某記者だが、いつでも六分四分で劣勢、いくら勝ち進んでも敗ける予想だけだった。それで優勝した時、勝ったのはあんたのお蔭だと言ってやった。事実、練習試合でも分る通り強いなんてもんじゃなかった。

だが、だんだん調子が出て、試合がそのまま練習の積み重ねという結果になったナ、団結したしね。

司会 予想を裏切り勝ち進んだ原動力は？

田中 やっぱり甘やかされなかったということですね。非常にしいたげられたというか……グラウンドで野球の練習をするなどというお達しでしたからね……。

司会 そうでしたか。

平野 そうなんです。瓦をこわすからと。もつとも村川なんか打つと瓦がとんで危険でもありましたが。それで

先生方が帰るまで河北小学校でバント練習、テニスコートも借りました。

沢田 グラウンドではラグビー部、競技部ともかち合いました。河北小ではスパイクをはかないようにということでしたし……。

小泉 わりとエラーが少なかったのは、岩高グラウンドのお蔭だね。石ころでよくイレギュラーする。油断をすれば怪我だ。それが市営球場へゆくとイレギュラーなし、安心して守れた。

田口 悪条件だったが、それだけに本当に野球の好きな者だけが残った。一時はセカンドがいなくて中学の部員をつれてきてうめたこともある。

司会 決勝戦のスコアは？

沢田 5-3でした。

田中 ファーストがウイニングボールをキャッチした時、思わずメンコを投げたことをおぼえています。街をパレードした記憶がないですね。

司会 夢心地だったのかナ。エキサイトの場面などは？

田中 八戸高のピッチャーは西鉄にいった中島で、キャプテンでしたがフックスライディング、足を上げてとび込んできて、とばされた。それで思わず頭をボカッとやってしまった。今ならあげられるかな。

平野 勝ってグラウンドを一周した。浮き立つような気分と共に不安も湧いてきた。盛岡高が惨敗してきていたから、オラ一体なんじよになるべと沢田

君と話したことをおぼえています。

田中 オガシヨ（小笠原昭三）さんだと思いが、背後から、負けてもいいからと叫ばれた。オニと思っていた人のその声で、ずっと楽な気分になった。

沢田 球場から車で駅に向かい、それから材木町と盛んに太鼓を打ち、礼を言いながらの行進でした。

戸嶋 前日相談してはいたが、勝った時、あれだけ車が集っていた。驚いた。勝った時に動員かける手筈にはしていた。

田口 トヨタの高橋功さんからも後で言われました。お前達が乗った車は俺が運転したと。

小泉 球場でオープンカーに乗る時女の子から人形をさし出された。なじよにしようかと思っていたら、戸嶋先生が貰っておけというもんで……（笑）それだけははっきりおぼえています。

### 天から紙吹雪

#### 市民の好意が身にしみる

戸嶋 在校生、父兄、卒業生が、あれ程一つになったことはない。先頭車には山中校長も乗り、生徒の自転車隊がラインに続いた。松屋、郵便局あたりにししかかったら、天から紙吹雪、もう甲子園で勝ったみたい湧きようだ。市民の好意が身にしみてジーンときた。

平野 大通り飯塚あたりでも大変な熱気でした。

田中 先生から挨拶の要領を言われたが、どうもウロおぼえでした。入院

中の父に勝利を報告し、家に帰ったら近所の人達が祝勝会をやってくれました。嬉しかったですね。感激は家に帰っていいよ深まった。

司会 あの長丁場、応援団もよくやりましたね。

田口 相手校はプラスバンドなんかで随分派手なもありましたね。こちらでは、例の進軍ラッパ。意気あがりました。

戸嶋 あの時は多くの方から大変な恩義を受けた。審判の村松さんは手紙をよこしてくれた。それにはみんなの名前が書いてあり一人一人について感想が書かれていた。これはラジオの放送原稿で、録音もとった。余談だが、その録音テープは村松さんの葬儀の際、霊前にお供えしてきた。それから盛中

OBの米内さん、一高応援団の先頭で棒を振るお爺さんだが真先きに来てお祝を述べてくれた。

#### 夢の甲子園で法政二高を降す

司会 では甲子園に話をすすめて……法政二高の手応えはどうでした……？

田口 東北勢はそれまでどちらかといえどコールドゲームみたいな敗け方をしてきている。だから全然見当がつかない。相手は神奈川代表の都会チーム、あの時も新聞は七分三分で岩高が

負けると予想していた。

田中 相手のトップバッターはショート

の吉沢、彼は主将でもあり、開会式では宣誓もした。その吉沢を村川が三振で討ちとった。それで法政二高に

対する恐怖感も消えた。

沢田 試合となれば夢になるから、勝敗のことはあまり考えない。しかし3-0で降した時は夢のような気分でした。

平野 まあ、どちらかといえば、あまり見苦しくなく終りたいなんてところだったと思う。

司会 坂出商の時はどうでしたか。小泉 雰囲気全然違う。あの時の新聞予想は五分五分と出た。坂出の投手の情報なども入り、新聞でも軟投投手とか書かれていたが、いざバッターボックスに立ってみると、今までみたこともない剛速球が飛んでくる。

田口 向うの軟投は、こちらに比べ速球投手、どうやら基準が違うらしい。

司会 準優勝した坂出商に3-1と迫ったのだから、悔はなかったですね。

田中 完敗ではありませんから……旅館の名前が三福だったので三回戦までゆくかと思つたのですが……。

司会 一矢は報いたからね、ところでファインプレー、珍プレーの思い出は？

小泉 ファインプレーは沢野ですね。

沢田 いや、あれは珍プレーです。

田中 あれはファインプレーと新聞に出ていた。

平野 僕が一塁の方に走つたから、それについて走つたのだ。ところがボールはアッチ。

沢田 なにセスタンドが白一色なもので、球がみえない、逆方向に走つたんです。

田口 あわや三塁打というところでしたが……。

司会 珍プレー変じてファインプレーとなる……それも練習の賜物ですね。

田口 坂出に敗けて戸嶋先生に謝ろうとしたら、先生はニコニコして、よかったよかったと言ってくれたんで、あの時だけは、先生喜んでくれてると思えましたね。（笑）

戸嶋 極限まで力を出すということだ。応援も戦力をもりあげる一つだが毎日新聞の上田常隆氏もよく三福旅館に来られた。三田商店の社員や三和銀行の社長もわざわざ訪ねてくれた。

田中 南海にいた田子先輩もきてくれました。郷土の応援隊は四五百人ぐらいだったと思います。写真を見るとラサ工業の社長さんのハッピー姿もあります。

田口 マネジャーの小田島君よくやつてくれた。

沢田 中川さん、瀬川さん、それに付添医の久保田先生には……

小泉 一生頭が上らないです。

司会 石桜新聞35号の座談会記事



みると、甲子園までの勝因として、戸

嶋部長は次のように言っておられる。

―平素の生活態度がよかった。それに

①よく練習した②指導者の言葉をよく

守った③チームワークは今までにない

くらいよかった。よく練習したとい

うその練習ぶりについて……。

田口 三百本ノック。腰が立たなく

なりました。監督の川村先生は、最低

の状態でのくらいやれるか試された

といひます。我々は恵まれていました。

田中 高田松原で雨の日に練習がな

いなど思っていたら海岸の往復、砂の

固いうちはいいが、サクサクの砂には

足をとられる。チームワーク乱したか

ら又いつてこいなどとやられた。

小泉 好摩合宿もつらかった。暗い

うちから川昌さんはノックをやってい

るんです。

平野 俺らは飯炊き、学校から鍋を

もっていったが、よくこがした、こげ

飯弁当に沢庵などで、人前には出せそ

うもない、部室でボソボソ食べた。

田中 市営球場での練習も忘れられ

ない。猛ノック何百本、田口なんか動

かない、いや動けなくて川昌さんにパ

ットで尻をたたかれた、素直な球など

一つもこない、こちらかと思えばあち

ら、あちらと思えば又こちらだ。声も

出なくなる。

沢田 小泉一衛さんのところからは

痢になつても練習は休まれない。

司会 頑張り屋揃いでしたナ。

田口 野球部員で単位を落す者はい

なかつたです。模擬試験で板垣が、あ

る科目で最高点をとったりしましたよ。

司会 下級生からみて上級生はどう

でした？

沢田 田中さんがおつかなかつたで

すね。メンでガツンとくるもんで(笑)

小泉 低学年の頃は部室でよく正座

などさせられたが、おれらの時はやら

なかつた。

平野 時効になつたから言うが(笑)

会議室でのビンタもなつかしい思い出

だ。盛工と練習試合をやつたが、後始

末を三年生にやらせて二年生以下が帰

つてしまったから事件となつた。

田口 電話で呼び出されて、六人が

合計七発やられました。

司会 勘定が合いませんナ。

田口 一人で二発頂戴した人もいる

から……。(笑)

戸嶋 恐らくそれはキャプテンでし

ようナ。(笑)

チームの品位を画伯が激賞

司会 ところで校長室にある「花と

少女」の油絵は甲子園のよい記念です

ね。

戸嶋 あれは大宮市に住むフジバヤ

シ・サイカンという画家から贈られた

ものです。この画家は非常な高校野球

出場チームの中から最も気に入ったチ

ーム二校をえらんで作品を贈ることに

してるんです。何度か手紙も交換しま

したが、岩高のチームカラーに惚れこ

んで激賞してるんですよ。岩手高校に

は立派な品格がありましたので動かさ

れました。

沢田 僕らも色紙を贈られました。

打撃フォームなどが画かれています。

小泉 全国の高校生にくらべて非常

に高校生らしいという評でしたが、あ

の位にしか出来なかつたというのが本

音ですね。

田中 授業料滞納の僕が卒業できた

のは石桜会功労章のお蔭です。今伴が

甲子園の参加賞や功労章を持ち出して

帽子やバンドにつけたりして困ります。

(笑)

戸嶋 功労章を正選手九名に与えた

が、団体での受章は初めてのことだつ

た。

司会 あの頃はよく選手の親御さん

が球場にきましたね。

田中 病気で休んでいたら、練習は

ないのかと親父が自転車で球場に運ん

でくれたことがあります。

戸嶋 スポーツが強くなるには、親

だよ。親が子供を頑張れと励ましてや

ることだ。ラグビーで黒工、秋工が強

いのはそれだ。

司会 来年こそは甲子園へとゆきたい

〈座談会おぼえがき〉

選手の家

前ページ中ごろの戸嶋発言中、

「審判の村松さんは手紙をよこし

てくれた」とあるその手紙には、

村川投手の家族のもようも書いて

あった。

「(前略)家の長女が大会の前

日通りすがりにお寄りして、お母

さんに吉兵工君の健闘を讃えまし

たら、『いいえ、私はお店が忙し

くてグラウンドに行けないので、試

合が始まればラジオの前にすわつ

て、おめアはいい球投げるんだ

んちエ、打つておくれやア、第一

おめアはんのために負けだと言わ

れねアよにしておくれアやアと、

ラジオと話してあんすのす」

長女もホロリとしたと私に話す

のでしたが、私も何かしら胸暖ま

るものがありました。このことは

我が子、わが兄弟を選手にもつど

なたの心情にも変りのないことと

信じます。(後略)

村川投手の一球一球には、母親

の暖かい、しかも必死の祈りがこ

められていたのである。バッター

ボックスにたつたときも、選手一

人が打っているのではなく、その

家族も一緒に闘志を燃やして

いたのである。

こういった気持は選手の家族に

とどまらず、本校関係者全員の気

持でもあった。祈りが通じて甲子

園行きが本決まりとなつた瞬間、

ある老先輩は、開校以来これ以上

の感激はないと絶叫した。